

## 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 年 月 日 20. 4. 16		
申請者	所属科: 外科	医師名: 石田秀之	印
抗癌剤プロトコール内容			
略名	mFOLFOX6		
適応臓器名	進行・再発大腸癌		
薬剤名	フルオロウラシル注射液 (商品名: 5-FU 注) レボホリナートカルシウム注射剤 (l-LV) (商品名: アイソボリン注) オキサリプラチン注射用 (商品名: エルプラット注射用) (L-OHP)		
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。		
用法・用量・投与スケジュール			
<p>2週(14日間)を1コースとして繰り返す。</p> <p>day 1</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前投薬: 5-HT<sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤 + デカドロン 8~20mg</li> <li>2) L-OHP として1回 85 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)とl-LV として 175 mg/body または 200 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を別々のバッグに入れて同時に2時間かけて点滴静脈内注射する。</li> <li>3) その後 5-FU として1回 400 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を15分以内で急速静注し、</li> <li>4) 5-FU として1回 2400 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を46時間かけて持続静注する。</li> </ol>			
Evidence	<p>NCCN ガイドライン。 大腸癌治療ガイドライン。 臨床試験 ① 化学療法既治療の治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する L-OHP + 5-FU/l-LV (mFOLFOX6) 療法の第II相臨床試験(OGSG 0505)、② 遺伝子解析による大腸がん治療薬の感受性及び副作用予測に関する臨床研究—modified FOLFOX6—。</p>		
備考	臨床試験 ① は 2005/06/20、② は 2006/04/11、当院 IRB で承認されている。		
がん化学療法委員会承認日: 20. 4. 21			